No451

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

令和 5 年 5 月 号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

東京都ラベル印刷協同組合

憂111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

小料的取ジ央 いの調 لح な 組 タ 会 を 7 査 企 東 ま 業 す 支 状 ルは 京 لح 今 を組 る 援 況 都 合 を 等 事 口 中 と デ 関 て はの 行 を 務 小 ジ を 4 そ ほ う把 す 局 企 企 が \mathcal{O} F, タ 目 際 握 る 実 デ 概 ル 的 組 \mathcal{O} 実 ジ 寸 施化 に 基 態 合 要 体 タ L 実 礎 効及の

「組合デジタル化実態調査」 推進する目的は「業務の効率化」が 9割、次いで「経費の削減」4割

に化

て進

W

を

す 事

る 務

Š

え が

で デ

の

課

題

な 0

0 7 情 3

> 組 報

合 収 0

3

3

3

推組た

合

局

_ が

集 組

能

力 $\widehat{3}$

強

化

9

1

2

で が

効

率

化

態 中 資 果

と

口

答

L

た

合

6

割

つ答的推組 のに進合 す つ W る う え で 重 視 す ル 支 化 いい要 を ■

る化

に回目

11 あ 0 み 0 る た 9 口 答 2 H 1 位 3 組 す 口 上 援 情

デ

ジ

タ

化

に

関

が ル

6

項合

目

イ次 6 等 が入 組 人回 専 لح 3 • 合 対 材 答 上っ 1 4 門 な 維 応 3 \mathcal{O} で位 4 知 7 確 3 2 管 \mathcal{O} 識 9 保 組 項 専 情 合(3 理 不 を 目 門 報 安 で が 資 持 3 ま セ 知 最 0 金 5 % で Ь 丰 識 \mathcal{O} が 8 人 が材 多 を \mathcal{O} 不 ユ 1 4 2 IJ 持 複 \mathcal{O} 足 4 組 % 導 テ 確 6 合 0 数 で テ にい 7

لح 化 え 11 \mathcal{O} る が لح て 推 結 がデ 進 果 わ ジ لح 課 カュ を る 題 タ 妨 な組 とル げ n 人 な 7 デ っ材 11 て る ジ が の ュ 答上

な 因 ル 超

タ を

で位に推組 つ進 合 3 事 す て 務 る 目 う 局 ま えが で で デ \mathcal{O} ジ 必 複 タ 要 数 なル

で位

車

門

知

を

実

習

لح

 \mathcal{O}

面

3

項

目

ま

で 識

 \mathcal{O}

数

持 複

た加バ が ス そ % フ 5 ワ セ \mathcal{O} が ア 3) 等 他 丰 1 F. 3 4 \mathcal{O} \mathcal{O} ユ T 組 0 な IJ とし 合(5 口 1 設 2 0 テ ウ 答 定 組 1 が オ 合 9 複 保 1 口 3 グ 数険 ル 5 管 サ 3 \mathcal{O} あ

課 IJ 題 組 テ に イ合 つ 対 事 V١ 策務 て を局 す が る 情 う 報 え セ で 丰

情 $\widehat{5}$ 材 11 報 \mathcal{O} で 漏 確 サ % が イ で 5 0 対 ŧ 6 攻 多 応 擊 < 組つ

ジ \mathcal{O} 最 8 1 等 削 タ が £ 4 % 3 減 ル 多 0 が 機 関 4 合 4 す 習 0 5 次 2 会 入 る 1 1 3 支 等 組 0 援 対 2 % す ょ 4 玉 がる る 6 等 で 3 補 6 識 \mathcal{O} 最 助 4 な 習 3 金 情 ŧ 得 0 組 報 多 の ス 金 4 が 3

 \mathcal{O}

不

足

が

3

3

7

組理

合資

8

1

%

لح

な

ム組

合

W

е

b

議 9

シ

4

5

5

合

5

1

維

管

る つ い情 組 て 報 合 セ 事 キ 務 局 ュ IJ が テ 実 施 イ 対 し 策 て

組

合

5

1

4

%

実

施 1

11

な

が

4

4

6

組

実 実 テ

施

L

7

1

る つ

が

4

7

施

に 用

11

て

状を

況 活

し

て

の

슾 会

4

6

%

لح

な

0

た。

記 8. て

結

果

を

業

種

別

に

4

製

浩

業

最

Ł

複

数

業

ゖ

ピ 高

ス < る

続

< 種

結

果と

な]

0

W

е

b

て

11

る 会

内 議

容

最 7 1 複 対 数 ŧ 5 策 口 多 組 ソ 合 フ 8 \vdash 次 \mathcal{O} 1 6 セ 導 丰 入 4 ユ 理 がリ 導

 \mathcal{O} 0 員 で が に ス テ 最 複 つ 3 A 0 数 Ł 組 を 多 8 口 て 合 活 の

答 理 事 会

合 合 $\frac{\vec{4}}{4}$ そ 3 \mathcal{O} 会 لح \mathcal{O} 打 4 5. 他 合 部 会 会 組 せ 0 6 لح % % 6 L が次 が **等** て、 1 2 5 لح 1 6 組 採 な 0 5 4 行 合 用 0 た 組員組委 面政

し を て 活 لح 用 w の技の な し е て 回能 答 の 슾 会 が 議 議 あ生 シ 等 0 スた を 実テ 施ム

がいのの員複みあい活 る 数 っな لح た 口 11 4 組て 答 上 4 合 で 位 0 の議 議 う 3 組 や組項 シ 合 合 ス 目 12 回施 テ ま 0 11 Δ \mathcal{O} 7 て

に レ ワ■ つ] 組 ク 合 の事 現 務 在局 のに 実お 施け 状 る

な

0

4. 感 彐 お 通 2 組 ₹, 0 じ け 信 合 6 た。 1 組が な る 環組で 機 合 取 1 次 境 合 $\widehat{5}$ 合 3 最 たことが 施 L 1 る 9 11 たこと と、 L £ 8 た るテ て 3 多 7 組レい 3 5 V < 1 合 組 ワ % Ø 実 な は 8 \mathcal{O} 合] 8 あ 施 う 5 11 組 次 ノち、 ク 順と が L る **(**) 合 8 を て が が で、 に な 1 いっ 現 1 口 8 る 実 0 在 入 7 1 答 \neg V % た組施 は実 7 のし 4 合

で、

必

性 最

を ŧ

0 備 お

で

多

不に

け

る

機

材

が

2

6

4

コ

3

ユ 8

= 組

ケー 合(5

シ

2

3

に

<

11 3

が

1

4

て レ な 報 お ワ 2 イ Ì 組 て フ 合 ク 1 るこ の事 ラ 材 \mathcal{O} 導 務 P と整 入 局 通 状にが備 信 況お伺 環 が え 境 にけ 課 る。題 等 つ る いテ لح 情 がのて 答

لح

テ

4

る

 \mathcal{O}

あ が

複

数

答

で、

業

6 7 ŧ 7 多 % 1 4 9 4 る る < 組 ピ 合 順 ス 6 が 予 لح 2 3 11 2 定 な で、 2 4 な 0 入 建 組 5 数た。 L を 合 組 % 業 予 < 業 $\widehat{2}$ 合 3 種 業 が 入 で 結 定 種 L L 最 5 が

> で L 組 実 施 が 4 あ テ 況 $\widehat{2}$ 5 て あ て 新 討 て Ð 3 みる 2 ついホ 頻 L 3 る組 た 度 組] 7 な < 6 合(5 に ٤ , 5 合 Δ % ** \ 11 7 合 つ 9 \sim る」] \mathcal{O} 3] 9 が 不 順 う て A ジ 3 定 لح 組]

0 な ワな レ た W ワ Ì 1 組 理 1 上 ク 由 位 6 合 ク を に を 3 組 \mathcal{O} うち 実 つ 項 合 実 施 ٧١ 目 に 施 て L 2 し でい回た た な いホ更 な 5 2

ŧ 3 等 状 多 \mathcal{O} < 業 追 が 務 加 次 そ \mathcal{O} 購 V れ デ 入 で ジ ぞ 費 と れ タ 用 1 ジな 情 6ルが つ組化か報でな内ま の た。 合がか機

開況組 つ組 4

設

L

1

る

が

合 2

9

順

と 1

tokyochuokaı.or

そ

 \mathcal{O}

が

7

9 6 3 7 1 な 開 % 0 4 設 5 開 ジ ッ のた。 組 を 組 設 で 更 検 合 合 最 L

とが8毎も % `` \sqsubseteq 多 く組 0 が 8 組 更新 8 次 合(8 11 組 L で、 うち、 7 合 4 を 期 合 4 11 % 1 に回開 % な 1 で 4 がつ答設 ケ 1 等 月 最 3 いの し

3

2

%

等 員

と

合

Þ 組

境 合

不 に

備

と

て回

た 通

組 信

合 環 組

が

6 \mathcal{O}

割

لح

な

0

テ

بح

レが

新 組 担当 合 ホ 者 1 に A つ ~] てジ の 主

最 容 11 門 6 8 でがみ あて 業 3 ると、 0 9 たる 5 組 0 4 者 合 組 ŧ] <u>%</u> 0 多 ム 9 < 組 合 が \sim 組 1 合(5 2 \mathcal{O} 1] が 合 うち、 組 組 次 3 6 ジ 事 合 8 8 1 を 0 務 に 7 で、 組 組 開 局つ回 合(6 合(2 7 職い答 設 % が 専 員 て \mathcal{O} し

8 テレ

組

合 ワ 口

5

0

0

%

]

クに

な

ľ

ま務

] ア 合 ル ホ に 1 つ 厶 い Ì ジ の IJ

 \mathcal{O} 他 9 9 討 で がみ あ て <u>%</u> 順 中 組 最 3 る 2 ٤, لح が 3 た 合 ŧ る] なっ 8 が 2 7 5 多 組 Δ 現 9 1 9 組 合 ~ 7 在 合(5 2 \mathcal{O} 組 1 3 え 合(4) 作 7 組 う <u>%</u> て 合 11 6 を 11 に 合(2 回開 な 2 9 9 そ が 設 1111 答 検 \mathcal{O} 4 9 て \mathcal{O} し

リニュの た組 がい との が で \mathcal{O} 7 2 合 最 て あ 4 いホ し $\frac{1}{1}$ ゥ みる 維 1 な て 組 回 2 ŧ 0 Ì 1 持 2 W 合 答 多 た 11 他 Δ 1 組 ウ ア 組 組 な ホ が 3 ~ が 合 多ル 理 と 合 合 い 1 1] 1 $\widehat{1}$ 6 資 理 < を な \mathcal{O} A 5 L 次 ジ 必 · を 占 う 由 ぺ 実 3 金 て、 7. を 等 要 組 ち、 1 施 に 開 な と が 合 つ ジ 不 \emptyset L 3 3 回設い たた 足 11 に を 近 開 て 2 答 開 し 年

記 ア 調 ク セ 結 果 文 は

ンテック入社式で服部 社

風起こし イ ノベ] シ 彐 ン 0 芽 を

当

で 5 引 の高 クと 言 0 過 き れ 配 口 る。 え 大 続 者 لح ウ ナ 年 慮 口 き L き 進 ウ 1 11 \mathcal{O} ナ ŧ 以 み 始 な 感 لح た うい厳 ズ 1 不 上 染 転 未 わ 格 可 IJ ゆ な \emptyset 換 の知 ス わ た 期 期の る 対 スク 禍 た で 間 応 が に 環 は あ な 境 ン T は が な デ り بتح フ 新 0 \mathcal{O} 求 依 1 ょ S た 時 中 \Diamond 然 日 タ う Ι \otimes 進 全 ま Ν \mathcal{O} 強 な \mathcal{O} 社 ブ \bigcirc 掲 < 長 L Ο A 期 て ル 7 重 三〇)」で Ν В Т げ 求 点 1 11 丸となっ 経 る Ι Е ピ 営の ルスト テー 5 L Cが $\mathop{\subseteq}_{\Xi}$ 期 れ Ι 彐 た S て ビ 7 Τ ン U め] ジ 11 ま Y S \mathcal{O} る す

サ L V Т

ス S

テ

ことを D G サ ス S 重 テ 視 Е ナ L S ピ た企 G IJ テ ح 業 経 11 営 0 B た S

実 現 لح 設 れ さ な \mathcal{O} を 定 ま し、 ざ る た 推

な 的 目 a な と 0 に 0] 料 L 第 g た。 価 な は たことの影 1 S е 段階 非 フ の 格 る V や物流 オン 常 高 前 二 〇 三 〇 年度 は、 \mathcal{O} \mathcal{O} 厳 三か 響で、 需 費 L Ρ 要減 お 11 С \mathcal{O} 年 結 副 V 業 Þ 資 S 計 果 少 て と績 لح 原 ス 材 画

な業 \otimes 務 にな で 11 は経 ŧ カュ 口 営 利 オ な 基 セ 益 D る ライ を 創 ス 盤 厳 改 を L を 革 構 出 11 駆 築 化 が で 使す き 環 が 必 急 境 要 L る る 速 た た 強の

L 締 氏 代

ま 役 が 表 王

L 社 退 取

> 長 任 締

12

開

原

学

氏 11 影

が

就

任

祝入社式

ての ののか織象て ら内各 を え 力 極 いシ なく たな的に \subseteq ほ 良 通 密 瞬 て 的 る 3 11 \otimes け れ \mathcal{O} ン た新 し な に 対 間 に < す で 1 て にれ L カゝ 発 \mathcal{O} 関 ため と て、 必 5 信 ŧ ば 迅 瞬 係を 考 は 要 自 ユ なら 速 L が 風 間 生 に、 え 互 が て = に あ を 会 分 社 想 で 築 ケ 内 社 あ る て な 対 ほ \mathcal{O} 起 定 L 起 1 関 事 لح 11 応 کے る L 意 1 11 考え 7 T 風 係 L し 前 11 見 シ て 0 る 3 そ べ き を を 通 者 て て 7 11 に b そ 組 事 L 備 極 積 7] ン 社た 11

Ι A

S Ι

採 (本 社 採 令 用 用 和 人 五. 兀 入 数 七 社 兀 本 式 社 に 出 採 日 用 八 席 本 兀 人 七 工

原学氏 ほ 高 が 介 تلح 場 人

王

タ

ツ

ク

子

タ

ツ

ク

は

0

役

社

長

新

L \mathcal{O}

代 山

表

取

新 子

社

長に

開

組 二〇二三、二〇二四 合員 名 簿 を 作 成 年

版

名簿 X で 事 者] 組 ルお務 変 顔 合 更 写 を 知 局 で 等 ま \bigcirc 真 作 6 は で Þ 成 せ Þ 七 メ < あ 住い 兀 月 ださ] る た 年 所 ル 方 変 L 版 P は ま 組 F す 合 A組代の員

<u>tlpa_1966@</u>) k a 2

net.ne Α X 五. 八二一 六 兀 兀

第57回通常総会「上野東天紅」

総会への出席は組合員の 義務ではなく<u>権利です!</u>

5月26日(金)午後4:30

寄 稿 生 命 0 種」 第 弾 14.

ĺ は 母乳に 含ま れ る 才 IJ ゴ 必

有 T O O V 田 ゑ

そ 七 の 章 産 声 を 上 げ た 時 か

役坊腸酸がゴるで \mathcal{O} \mathcal{O} 塩 短 糖 役 正 細 鎖 目 を 免 を l W 果 疫 胞 脂食 をい坊 酸 た 系に 肪 種 果細 \mathcal{O} すの吸が酸源た菌 発 収 放 لح L 種 さ出 L 達 そ てを にれさ \mathcal{O} T い栄 苗 重 れ時出 る え 要赤るの る オ さ 床 な ん大乳の IJ せ

きたなにな \mathcal{O} 含 よ大割 内だ。 う ま L 人 れるに、 て 環 に 境 オ る 11 食 を IJ 赤 オ 物 平ゴ IJ W 繊 常糖 ゴ坊 維 は 糖 に に が 戻混がは す乱必母 必 働 L 要 乳 要 だ 赤

出応母を腸 る じ 乳 初て \mathcal{O} 乳変 成 分 る。 免 は 疫 成 出 長 胞 産

乳 に 糖 タ 週 を 体 に に に 2 富 Š W 1) で イ含 ク る。 N 口 で バいオ細 イる IJ オ

いはわ 数糖抗後階

いはが間た 減 安 後 菌 7 しマ 1 たは T 膣 る 腸乳 لح オ 房 。ゴと直段 い組リ 織 ゴ なに らた陣た \mathcal{O} لح ろ乳

す 同母 い物 て疫 じ 乳出手微を 細 かこ 11 微は産伝 生 追 た 胞樹 ら 生 成 11 物 V \mathcal{O} 状 L b 中 物 を 出免 人 細 7 に 疫 がの 新 す L 胞 だ て 入 П 系 入 生 か 生 つ内 い児 け は 0 呼 移 月 て に に 7 る で 悪 ば動 た V) V) 6 引 ない移 れし 2 る L く微動る る き 7 لح たい渡い生し免い大

そ女女わ母 る乳 ろん うりの \mathcal{O} 含 \mathcal{O} ま出離 王 切れ 産 乳 は 開 る 方に 膣 で 微 式 備 出出生 に え く違産産物 ょ T うししがっの

女帝しの性性 王か違のの しい初母帝 、は乳乳 六 と か か 経 月な り 続

< 痛 さ 中性 に にの切 λ 開 移出強 初 て力乳 で 陣 さ 微なに は 痛 開せ 生ホ似 経 が T 物ル T 膣 来 微利赤いをモい出 る産た んる腸ン 坊のかが 後 L

つ

重 切

 \mathcal{O}

不

生 益

腸わ

通

で あ

ク

口

イ

オ

子

ŋ

لح

う

は帝

産 7

必

要

な

いるを 追得 加ら のれ 微な 生い 物上 もに 得 母 ら乳 れに ょ な

 \bigcirc 体チ多い児すは 0 % 大 重 に 発 白 11 皮 粉 にな性一血 膚 人 多 ŧ り硬型病 免炎 ル に < なや化糖 لح に疫 ク な 糖 りす 尿 系 喘 症 な で つやい 尿 病 る \mathcal{O} 息 す て 病 関 IJ を を いま 節 虫 ス で 発 カゝ た、 ク あ症 赤 発 IJ 垂 5 ゥ 炎、 ŧ しん る 六 過 7 小や坊 高

すのる。 どう 多 る く粉も 11 うこ 母 は 3 乳 ル とといに 育一ク 育 児 世 児 な を 紀 る L 病の だかな と 不 はい関利症

たた変 7 事 で情果そ て え 報 をれ る 自も もぞか ŧ 分 し 得たれは な \mathcal{O} た らの選 11 赤 う 方 L Š λ うるが え 権 坊 j で 利 を 選かど が 事 ど ぶとん あ る う べいな き う 結 が 育

し細菌に もマ て菌は し 不 1 あ 人 た安ク る 生 の似母 が 定口 \mathcal{O} て親 2 で バ 最 7 \mathcal{O} イ あ 初 膣 子 る る オ \mathcal{O} 細 供 1 菌の成 タ いのか腸 長は 年 間 らのす 親 と こに腸細る て 腸

タ 生 様抗

ル

七

考 لح 連 益 す お 無 ク 関 る。 る け 口 状 る 係 バ 態 \mathcal{O} に 微 でイ 炎 食 生 はオ 症 生 物 な タ 0 大成老組腸 き比齢 成

き 供 7 重 う 要 然 主健れ性 出 よ体康ば、 لح 産 そ う 的 لح で 幸私の完 に な物 結 全 せ た にち果母 事 を過 自を 乳 選 身 認育 لح 択せ 識児 る 子 し \mathcal{O}

い康続 絶 か 寿 善 割め 物 細 L はけ治外 自も \mathcal{O} ロする え を を ŧ 変 に 高 胞 お る療国は 高 実 لح 生 る 果 老 化 産 齢 齢 部 高 お もな旅 ま き 声 現 た と呼 化 分に むの 齢 者 者 ح 密ば 7 で を で す が 合にねの L \mathcal{O} に 常 き で 健 る 老わな 11 上 て 持接れ 安 腸 多 げ 定成々生 るに い活のい 続にる 化 せる 内 てとすっ るが組 微たの康 のはか状 す 人な物ホ 細 生 時 で維 か態 る 健 る に影質 のわは炎 菌 物かは持 ヒ康 な響に لح を なを期比マっ 、症 とらな لح 微 ト状 た 2 を ょ 生の態だ う 息い長 役決に とイ 7 改 て健持

ŀ 健 機 プ 関 は 心 W 臓 Н 病

下 2 0 記 \bigcirc ツ \bigcirc 0 万 プ 1 \bigcirc 人 9 1 年 間 \bigcirc 位 \mathcal{O} 年 0 う 年 \mathcal{O} 5 死 を 5 \bigcirc 亡 世 五. 発 $\overline{\bigcirc}$ 界 命位 五. L 表 た を \mathcal{O} % \mathcal{O} L たた。 いが 死 九 ず 五. 因 年

> 下 0 痢 7 症 \bigcirc 位 は九 一位. 腎は 臟 糖

O

知 症 ₽ 上

十 狭 と る 心死 分 で に 症 大 虚 生 V ľ き 位 血. る わ は 性 疾 た 心 心 疾 患 5 筋 心 患」 な 12 筋 \mathcal{O} < 総 血梗 だ 称 な 液塞 る が や位

年 で て 患 \mathcal{O} 人者 あ に は 11 が う \bigcirc 以 は虚 5 上 約 る 原 は 血. 11 六 大 九 増 \mathcal{O} 性 \bigcirc だ 六 年 九 加 心 \bigcirc % \bigcirc 位 \bigcirc 疾 0 L のた 亡 万 が 万 て 年 患 < 人 لح 虚 人 で に 脳 に が 推 血 ょ な 命 卒 定 性 0 達 る 中さ を 心た L 〇 死 た。 落 疾 九 万

 \bigcirc

万

上

る

は 影 に亡 で \bigcirc 響 地 は 七 \bigcirc 糖 る 倍 で 中 八 \bigcirc 年 尿 以 海 \bigcirc % 5 病 上 % 増 に 東 $\overline{\bigcirc}$ と急 ょ 5 増 岸 加 尿 で 加 病 L 九 速には L 死 た。 ょ 男 年 亡 高 に る 増 齢 性に は 加死化 لح の世 亡 < 死 界 \mathcal{O}

て

11

る

لح

1

Š

管 症 D 慢 位 は は位 性 閉 は 認 位五四 脳 寒 λ 知 は位位 卒 虚 性 っはは 症 肺 肺 中血 気 〒 が 疾 性 新 心 患 λ 八 が生 気 C 位 疾 ん児道 位 疾 感 Ο は 七 女 位 性 に 九 知 T 11

> \bigcirc 症 ル

て

t ツ

 \mathcal{O}

因

1

7

病

位気患染P

尿

でN以 り C 患 死 \mathbf{C} 上 D な 世 循 型 D が Ν 界 \mathcal{O} 世

すこ $\widehat{\underline{2}}$ て能 個 5 ス な 人 ル 11 t لح 大 運 が る (4)不足 で、生 \mathcal{O} 気 だ 活 汚 す لح ス 染 健 ベ タ W 3 康 て Н 1 Ο 改 ル な ア 善 を れ 食 指 i が 見 5 事 ル 摘

No175 健康がいちばん!

と

L

て

る

る

糖尿病、

世界の死因トップは「心臓病」

認知症も上位ランク

タ 1 ル 0 見 直

 \mathcal{O} な المح 1 \mathcal{O} ツ ○ の 防 年 食 バ に 事 ラ 公 \mathcal{O} 表 Ľ ス L ン ま \mathcal{O} 1 と L た を

す

る

た

 \emptyset

 \mathcal{O}

左

記

 \mathcal{O}

0

 \bigcirc

動 ラン 物 類 精 ス 食 良 さ لح 植 れ 大 ŋ 物 混 性 ぜてて 食 穀食 類 を

は ラ

を受け

さ

とく

れ国

B お 死 1

欧 り

州

で

のど 世 六の 五 認 で % 知 は症 ル ツ で 女 亡く 性 1 な 7 1 0 う。 た病 人 な

亡 す る С \mathcal{O} 尿 非 界 り 人 D 全 疾病 感 的 に \mathcal{O} 患 死 に \bigcirc 数 ょ 因 が 性 増 は 5 る 呯 W \mathcal{O} 疾 ŧ 七 え 吸 六 病 九 のだ。 て 器 Ŧ. \bigcirc \bigcirc 歳 % お Ν 疾

ク Ν С 要 DK 因 \mathcal{O} は 五. 0 1 \mathcal{O} 主 喫 要 煙 な は 可直 コ IJ L

ぎた

で

IJ

ク

型 W ■ 糖 H 生 尿 〇 活 はス 病 が肥 ん満 な P 「ど五を メ タ 予 ボ

豆れ た 品豆食 事

ナ \blacksquare 利 食 ツ 用 ク 塩 す るとき 間 減 食 高 6 を 力 す は 摂 加 6 栄 工 1 な 食 養 \mathcal{O}

を 酸 ス 示 飽 食 摂ら ナ を 脂 を 和 ~ バ ツ ょ 肪 る、 脂 ラン ク な < \mathcal{O} 肪 摂 な 見 V 酸 \vdash ス n ど て、 と 不 良 ラ 方 を に避 < 食 摂飽注け ス 塩 脂 和 意 る る \mathcal{O}

脂 す

る

酸魚肪

肪

多

11

品

表

コ • るとき 1 ア 食 糖 だ 品 ルル 質 け は Þ はコ を 栄 清 摂 5 養 涼 ŋ ル 表 飲 ス ょ に 過 料 0 示 ぎ 注 が لح を を な 飲 ょ 利 上 テ 4 < 用 昇 過 す ル 見 す

運 性後時 ゲ 若 イ れ ・ドライ ット る 者 な 運 疾 \mathcal{O} 間 かを 患 女 行 動 \mathcal{O} \bigcirc 運 の性 に 成 目 動 • 動 示 安 あ 身 量 を る 糖 そ 関 体 年 頻 活 尿 で す 人 れ 高 度 妊 に ぞ 齢 は る 動 病 公 娠 た向 な n 者 W لح け 中 強 子 H 座 推 を 度 奨 タ 供 L \mathcal{O} Ο ŋ さ] ガ が た 産 •

Tokuteikenshin

? ノ ル な タ ジ t 3 を 導 入 ほ す ること الح 7 連 続 印 刷 ざ 新 製

品品

力

れおけ

カコ

な

色変化

計 る

測 僅

てリアル

で

索エンジンにフ

電子写真方式のデジタルラベル印刷機 「AccurioLabel400」 自動品質最適化ユニット「IQ520」搭載

仕 細

はこ 「AccurioLabel400」 ジ (東 な画 を開 0) 浜 タ 京 ほど電 松 都 始 町 像 ラ 港 ピ (3,600dpi 相 た。 区 子写真方式 ル . 芝 ル デ 浦 印 イ 機は高 ン 刷 \mathcal{O} 機 \mathcal{O} \mathcal{O} 中に 版 ず

売

当 2,400 ツ 1 で

自現質がな精ル等刷 \mathcal{O} 上性高 べ同印セ

る。

ŋ

再 밂

P タ を大幅 ル L 動整、 現 ングラン印 たこと、 \bigcirc り 続 業 を Y 時 た ま時間 が 大幅に L \mathcal{O} 化され、 IJ 口 側 たこと、 印 作 に ま 印 K)ます。 とも 一刷長が 採] 成 バ プ ブ 手 刷 でする 用 品品 に低 ロファ ル装着が可能になっ 業で で 大容量ト 最大 800mm (φ 質 ク ため 減 1 巻き出し巻き取 3,000mに拡大 シ を 刷 高 L 来、 ナー ブに 品品 1 彐 に 行 7 L れち . 削 たこ に って 質 常 \mathcal{O} ル 交換頻 ナー 作 ま 対 対 減 要 な 12 する連 くする作 いたキ とで 応が す。 できる。 印 成 合 安 ボト 版度 調 E わ 刷 定 実 口 度 物 自 せ

ブに・ 像 ホ 写 る を この 真 オプショ 形主 など多 方 式な 対応している。 仕様は次の 他 3,600dpi ドライト 様 トナー に (オプション) なプリン ンとして ナー電 通 CMYK 用意す トジ n 解 子 彐 当

ツ化

IQ520

質

適

ŧ 白 色 \vdash ナ] 25634.2m/分、30m/分、 B ロ | 取り $2,500 \,\mathrm{kg}$ Web $9,700 \times 3,200 \,\mathrm{mm}$ $7,300\times1,200\times1,620$ mm り、自動又は手動選択) 15m/分(メディア種に 印刷時)、20 m/分 (CMYK 256g/m²)対応メディア $250 \sim 330 \mathrm{mm}$ mm(巻き出し Web ガ スペース含む 必要設置 体寸法 (幅×奥×高さ ヤー紙、フィルム他)印刷 ンタック紙、含むテクス (CMYK+W)16,700,000 (BST) \exists 320mm 紙厚 PP、PET (タック/ノ シャフト 大ロ 巻き イドシ $270 \mu m$ 調 面 積 印刷時 1 環境 出 (幅×奥 /巻き取 最大印 ル径 (坪量 本 (81 ステム 用 (作業 体重 統 紙 巻 合型 き 本 ょ チ 量

詳 konicaminolta.jp 細 は ホ 1] ジで。

×2,400dpi 諧調/表現色